

東頸中学校の校歌が完成しました

令和5年11月20日

3区中学校統合実行委員会 事務局



来年4月の東頸中学校開校に向け、皆様からご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。

さて、11月1日（水）に、3区中学校統合実行委員会第8回全体会議と第8回校名・校歌・校章部会を開催し校歌が完成しましたので、以下のとおりお知らせいたします。

★東頸中学校の校歌について

前回（9月7日）の校名・校歌・校章部会で校歌の作曲者である今成満先生と意見交換後、10月に中学生とその保護者から校歌（試作）を聴いてもらい意見をいただきました。いただいた意見は、全て今成先生にお伝えし、今成先生からそれらの意見を踏まえて校歌（最終案）が提案されました。

<作曲時の主な留意点>

- ・中学生は、音域の拡大や歌唱能力の向上、音楽への興味関心の高まり等音楽的成長が著しい時期であることから、生徒が選択して表現（歌唱表現の工夫等）できるようにした。
- ・これまでの校歌のイメージから抜け出た生徒・保護者・地域の皆さんが親しみやすい曲調を意識した。
- ・様々な中学校の校歌の音域を調べ、変声期も考慮し、男女とも十分に響のある声量で歌えるであろう音域に設定した。

部会では、事務局から今成先生の回答を報告するとともに、いただいた音源を試聴して最終確認を行い、校歌を決定しました（下記の2次元コードから試聴できます）。

上越市立東頸中学校 校歌	渡邊浩一・今成満	作詞
	今成満	作曲
菱の高嶺も 保倉の流れも 幾千年語り続く 故郷の記憶 限りなく 永遠へ繋ぐ 命の道のりを 学び合い 胸張り 進み行け 未来を さあ 切り拓け その手で 前へ 仲間と 共に 手を結び 希望を抱きしめて 高みへ さあ 飛び立とう われら この地に生きる 今ひとつに 降り積もる雪も 咲き誇る花も 幾千年語り続く 自然の営み たくましく 永遠へ繋ぐ 命の道のりを 紡ぎゆく 肩組み 友情の 絆を さあ 深めよう 優しく 広く 心を 開き 大らかに 笑顔を届けよう 思いを さあ 伝えよう われら 空へ翔け 東頸中学校		

校歌のキーワードの募集から9か月余り、子どもたちや保護者、地域の皆様のご理解とご協力に厚く御礼申し上げます。開校式では、生徒の歌声で校歌を披露する予定です。

校歌の試聴はこちらから →



前号のたよりを配布した後に開催した部会の検討状況と、今後の予定を掲載しています。

1 PTA 部会

<9月27日 第8回部会>

- 上履きの色は、全学年「白」で統一する。
- PTA 組織は、保護者と教員の双方に負担が少ないスリム化された組織とするものの、開校後当面の間は、役員会に正副 PTA 会長のほか、幹事を専任で 3 名配置し、多くの方に役員を経験してもらうこととする。なお、時機を見て学年委員と兼任とするなど、必要に応じて選任方法を見直す。
- 現 PTA 会長、正副部会長、各校教頭で組織(案)や新役員の選考方法を検討(10月19日開催)し、次回の部会で協議を行う。

※第9回部会は、11月22日に開催予定

2 後援会部会

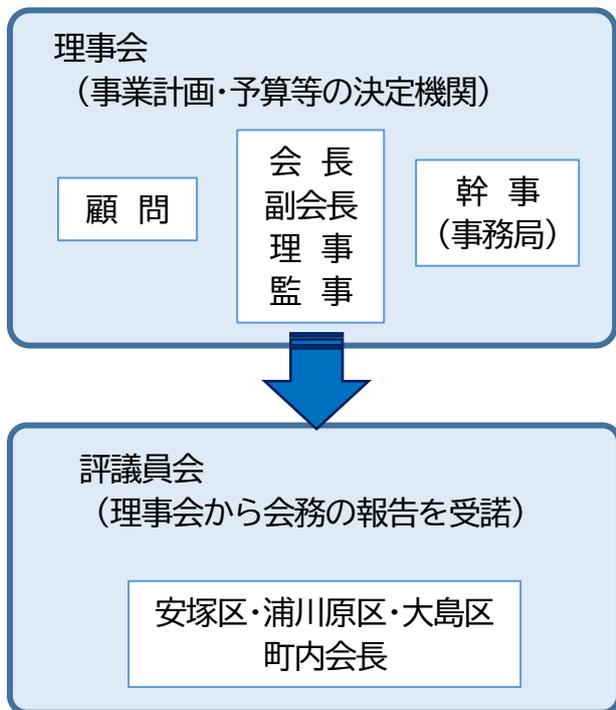
<10月18日 第4回部会>

- 会則の監事の選出方法に変更はないが、「3区全体で2名とし、同一区から選出する」と選出基準を明確にした。
- 各区の町内会長からなる「評議員」を選出することとした。なお、評議員は82名となることや、町内会長の負担軽減を図ることを目的に、理事会(安塚区3人、浦川原4人、大島区3人)に決定権を持たせ、評議員会はその決定事項の報告を受けることとした。
- 今後、各区町内会長連絡協議会において、会の名称、会員、会費の徴収、役員の仕事やその選出方法等について説明し、役員の数表に基づき役員を選出していただく。

※第5回部会は、1月以降に開催予定

<東頸中学校後援会組織と役割>

≪組織図≫



≪役員の仕事等≫

役職	選出団体	選出方法及び人数等
会長	安塚区、浦川原区、大島区内の会員	3区全会員の代表 3区による輪番制とし、浦川原区、安塚区、大島区の順とする。
副会長	会長以外の2区の会員	会長以外の2区の会員から選出
理事	安塚区、浦川原区、大島区内の町内会長	安塚区 3名 浦川原区 4名 大島区 3名 ※各町内会長連絡協議会にて選出する。
幹事	東頸中学校	中学校教頭及びPTA会長
監事	安塚区、浦川原区、大島区内の町内会長	3区全体で2名とし、同一の区から選出する。選出は、輪番制とし、安塚区、浦川原区、大島区の順とする。
顧問	東頸中学校	学校長が務め、後援会全般に対して助言する。

3 通学部会

第3回部会を12月6日に開催予定

- 通学方法についての確認及び情報共有を行う。

※第4回後援会部会資料から抜粋